

# 平成24年度第1回 和歌山県「高次脳機能障害支援普及事業」支援関係職員等研修会

- 1 日時 平成24年10月20日(土) 13時30分～16時
- 2 場所 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター  
和歌山県和歌山市毛見1437番地の218 3階 多目的ホール
- 3 参加者 医療・福祉・介護保険・就労関係者、家族会等
- 4 研修会内容  
講演1 13:35～14:40  
**「高次脳機能障害のリハビリテーションについて」**  
和歌山県立医科大学 リハビリテーション科 講師 幸田 剣氏  
  
講演2 14:40～16:00  
**「高次脳機能障害当事者・家族への支援～家族から伝えたいこと～」**  
イラストレーター 柴本 礼氏

## 講師紹介

5 定員 100名 申し込み方法は、ウラ面をご覧ください。

### ◇ 幸田 剣氏

岐阜大学医学部卒業。医師、医学博士。

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講師。

また、日本リハビリテーション医学会専門医・指導責任者として後進の指導と専門医の育成を積極的に行われている。

2008年7月から和歌山県高次脳機能障害者支援普及事業の委員を務め、県内県外の高次脳機能障害者の診療に携わり活躍されている。

### ◇ 柴本 礼氏

慶應義塾大学文学部卒業。イラストレーターとして活躍中。

2004年9月、夫がくも膜下出血で倒れ、手術を受けた後、高次脳機能障害を患う。夫が退院、リハビリを経て、就労までの6年間と、その間夫を支えた家族の様子を描いた

『日々コウジ中』を2010年に出版。高次脳機能障害を家族の目線でわかりやすく描いた本として話題に。

2011年『続・日々コウジ中』を出版。また、講演活動やブログを通じ、高次脳機能障害について当事者家族からの発信を積極的に行い活躍されている。



© 主婦の友社



© 主婦の友社

- 5 定員 100名 先着順。申し込み締め切り10月8日(月)定員オーバーした場合のみ  
こちらから連絡します。申し込み方法は、ウラ面をご覧ください。

# 和歌山県高次脳機能障害支援普及事業支援関係職員等研修会

## 高次脳機能障害とは

脳卒中や交通事故や転落事故等で脳の損傷を負うことにより、昔のことはよく覚えているのに新しいことを覚えられない等の記憶障害、すぐ飽きる、集中力が続かない等の注意障害や怒りやすい泣きやすい暴力的になる等の行動と感情の障害などが現れる障害です。

この障害は外見からわかりにくいことが多いため、当事者や家族だけでなく、周囲の人々も困惑することが多くみられます。

高次脳機能障害者の方が安心して地域で暮らしていくためには、医療従事者、障害福祉・介護サービス事業者、自治体職員、就労等の家族・当事者の方と接する関係者が適切な知識を共有して支援していく必要があります。

そういったことで今回、高次脳機能障害支援普及事業の一環として、医療・福祉・介護・就労機関等関係職員の方を対象に、高次脳機能障害の診断やその対応にかかる基礎的な知識を理解し、高次脳機能障害当事者とその家族をいかに支援するかを学ぶことを目的に研修会を開催します。

**お申し込みは、ファックス、もしくはEメールで参加者名・所属・職種・電話番号・ファックス番号・Eメールアドレスをご記入のうえ、送信ください。**

ファックスでのお申し込み

**073-446-0036** (この表をそのまま送付ください)

申し込み締め切り 10月8日(月)

参加者ご氏名	所属・ 職種	車椅子や手話通訳等
※複数の氏名を記入していただいても結構です	※保健・医療・福祉等の関係者の方は 必ずご記入ください	が必要な場合は記載 してください
電話・FAX番号	Eメールアドレス	
☎ FAX		

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター 障害者支援課  
TEL : 073-445-7314 FAX : 073-446-0036  
E-mail : e0404025@pref.wakayama.lg.jp